



人口 464,757人
男 226,074人
女 238,683人
世帯数 151,189

発行日 毎週日曜日 発行所 新潟市役所

〒951 西郷通6-886

編集 企画部広報課
印刷 第一印刷所



万代橋100年を記念して

新潟市のシンボル、万代橋の架橋百年を記念し、「チューリップフェスティバル」が先月十七日から二十九日まで開催されました。これは「市緑と花の協会」と「市花いばい会」が主催したもので、期間中、万代橋両側の歩道約六百メートルに、市民手づくりのチューリップ約八千本が飾られ、春に彩りを添えました。十七日の開催式では、記念植樹などが行われ、地元消防音楽隊を先頭に、地元の遊保青年団らが、春の日差しを一杯に浴びながらパレードを行いました。写真。

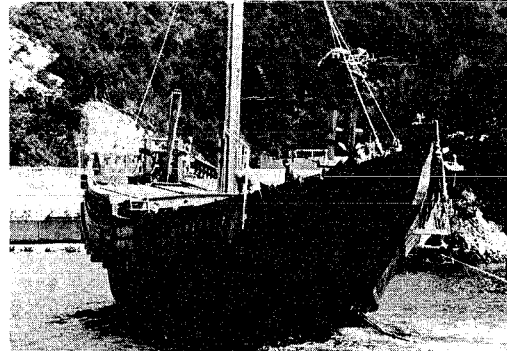
新潟市のシンボル、万代橋の架橋百年を記念し、「チューリップフェスティバル」が先月十七日から二十九日まで開催されました。これは「市緑と花の協会」と「市花いばい会」が主催したもので、期間中、万代橋両側の歩道約六百メートルに、市民手づくりのチューリップ約八千本が飾られ、春に彩りを添えました。十七日の開催式では、記念植樹などが行われ、地元消防音楽隊を先頭に、地元の遊保青年団らが、春の日差しを一杯に浴びながらパレードを行いました。写真。

新潟市のシンボル、万代橋の架橋百年を記念し、「チューリップフェスティバル」が先月十七日から二十九日まで開催されました。これは「市緑と花の協会」と「市花いばい会」が主催したもので、期間中、万代橋両側の歩道約六百メートルに、市民手づくりのチューリップ約八千本が飾られ、春に彩りを添えました。十七日の開催式では、記念植樹などが行われ、地元消防音楽隊を先頭に、地元の遊保青年団らが、春の日差しを一杯に浴びながらパレードを行いました。写真。

新潟市のシンボル、万代橋の架橋百年を記念し、「チューリップフェスティバル」が先月十七日から二十九日まで開催されました。これは「市緑と花の協会」と「市花いばい会」が主催したもので、期間中、万代橋両側の歩道約六百メートルに、市民手づくりのチューリップ約八千本が飾られ、春に彩りを添えました。十七日の開催式では、記念植樹などが行われ、地元消防音楽隊を先頭に、地元の遊保青年団らが、春の日差しを一杯に浴びながらパレードを行いました。写真。

- 役所 28-1000
教育委員会 28-1000
保健センター 29-6633
市民病院 41-5151
市立保健センター 86-1034
東保所 43-5311
石山地区保健センター 86-4450
鳥屋野地区保健センター 85-2373
北地区保健センター 59-7332
西保所 86-5171
西地区保健センター 62-3406
坂井輪地区保健センター 60-3255
市医師会休日急診診療センター 31-4135
県歯科医師会休日診療センター 83-3030

きたまえぶね 北前船がやってくる 6月2日に入港歓迎式



日本海を大回航する復元建造された北前船「辰悦丸」

江戸時代から明治中期にかけて、大阪と北海道の間を復し、日本海沿岸の各地に繁栄をもたらした西回り航路の貿易船「北前船」が、百年ぶりに帆を上げ、新潟港にやってくる。入港歓迎式は六月二日午前十時から万代橋下流東側で行われる予定です。今回は、北前船の寄港を機に、新潟港の当面の繁栄、現在や将来の姿についても紹介します。

戸時代に建造された千五百石積みの北前船「辰悦丸(しんえつまる)」を淡路島で復元建造し、兵庫県に寄贈しました。船の大きさは、全長二十...

九、六尺、最大幅九尺、帆柱を合わせた高さ二十六、六尺。今回、日本海沿岸各地の青年会議所や自治体などの熱意により、北前船「辰悦丸」が、五月五日から六月十四日までの四十日間をかけて、淡路島から瀬戸内海、日本海を経て、北海道の江差町に至るかつての西回り航路を回航することになりました。

新潟市では、新潟青年会議所、新潟商工会議所の三者を主催者とした北前船新潟港寄港実行委員会(五十嵐信備委員長)が中心となって準備しており、別表の日程で寄港することになりました。船内の一般公開もあつて、来港が楽しみです。

現代の北前船は「フリーとコンテナ船」 現代の新潟港にも、実は北前船は寄港しています。新潟小樽間に運六便運航しているカフリエリの「フエリ」(しんりゅう)と「フエリ」はまさに「そぞろ」です。また、新潟など日本海側と北海道を結ぶ内航コンテナ航路、日本海ラインに運六便が就航している高山・新潟・直江津小樽間の「石狩丸」と高山・新潟・酒田小樽・留間(新潟)「雷丸」もそうです。いずれも高い利用率を示しています。

SLBで欧州と新潟を直結 新潟市には、インドネシアを輸入するLNG船や、ヨーロッパを結ぶペリランド・ブリッジ(SLB)を含む新潟・ナホトカ航路のコンテナ輸送船が就航しています。昨年一年間で、西港、東港合わせて新潟港には十七万トン(船四十九隻)が入りました。また、同港を利用して十カ(約十八、四万)の輸出、二十七万トン(約百二十五隻)の輸入がありました。主な輸出品は中国の鉄鋼、インドへの合成樹脂とその他化学工業製品、インドへの他化学工業製品、インドへの化学原料、主な輸入品はマ...

未納市税の日曜相談 日時 5月11日、18日 (午前10時～午後3時) 場所 納税課 (本庁舎4階)

1日補導員を体験してみませんか 期間 5月15日、6月16日、7月15日 時間 昼・午後2時半～4時半、※7月は夜間(午後6時～8時)も受け付けます 集合場所 市教育相談センター内補導員控室(土大川前8、開公ビル内) 申し込み 希望日の1週間前までに電話で青少年補導センター(22-8600)へ

道路測量の実施についてお願い 市では、道路台帳整備のため道路測量を実施しますが、測量のため民家などの敷地内に立ち入ることがありますので、その際には「協力」をお願いします。なお、不審の場合は身分証明書の提示を求めさせていただきます。 問い合わせ 道路課(分庁舎六階)へ

電話加入権の公売 日時 5月7日午前10時～ 会場 国民健康保険課(本庁舎5階) その他 買受代金は、午後1時までに現金で納付。電話局での権利移転の手続きが必要で、住民票と印鑑が必要です。 問い合わせ 国民健康保険課へ



文化財めぐり ⑦ 「松」 竹内式部書

竹内式部は幕府政治を批判する思想の持ち主として、宝暦九年(一七五九)五月、京都町奉行によって京都付近、東海道筋、ふるさと越後の国などに立ち戻る道筋、ふるさという副を言い渡されました。また、幕府に気がねをす朝敵には、式部グループ二十三人に髪をそらせたり、出動し命を命じたりしました宝暦事件。この事件の後、式部は正徳と名乗りますが、「松」の書も同姓した文字でありながら、なんとも行間には式部の憂鬱が漂っているように感じられます。ふるさとの松を思い浮かべて、筆をとったのでしょうか。この書は、昭和四十九年(一九七四)市の文化財に指定され、市郷土資料館に収蔵されています。